プレスリリース

KIITO

2016.4.26
デザイン・クリエイティブセンター神戸

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既成概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、＋クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。開催予定のプログラムをご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申しあげます。

＋クリエイティブゼミ vol.19

神戸まちラボ CASE02　つなぐデザイン

～市街地西部地区（兵庫区南部・長田区南部）の豊醸化をめざして～

（上）ゼミ開催の様子、（下）ゼミ最終発表の様子

昨年度から始まった「＋クリエイティブゼミ」の神戸まちラボシリーズ。CASE01 として取り上げた「神戸医療産業都市」に続き、今回は、空洞化、高齢化が大きな課題となっている市街地西部地区（兵庫区南部・長田区南部）を取り上げます。テーマは「つなぐデザイン」。全国各地で地域豊醸化に取り組まれている美術家の藤浩志さんをパートナーに迎え、同地区を取材し、寄り添い、場や人や活動などまだまだ見つかっていない魅力的なまちの資源（リソース）を整理して、つないでいくことで価値を生み出す、アクションプランを考えていきます。さらに、ゼミ開講に先駆けて、地域の現状や課題を知るためのトークセッション「下町を住みたい町にするために」を開催します。ゼミ参加希望者はもちろん、この地区やテーマに関心を持っている方なら誰でもご参加いただけますので、ぜひキックオフとなるトークセッションにもご参加ください。

●キックオフ・トークセッション「下町を住みたい町にするために」

｜日時｜2016 年 5 月 17 日（火）19:00～21:00　｜会場｜KIITO 3F 303

｜参加費｜無料　　｜定員｜50 名程度（事前申込み制、先着順）

｜申込み｜2016 年 4 月 28 日（木）11:00 からウェブサイト（http://kiito.jp/）にて申込み受付開始

｜講師｜藤浩志（美術家／藤浩志企画制作室代表）、大谷燠（NPO 法人ダンスボックス代表）、松原永季（スタヂオ・カタリスト代表）、山下香（下町レトロに首っ丈の会隊長、流通科学大学特任准教授、一級建築士事務所状況設計室代表、フランス政府公認建築家）

｜モデレーター｜永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長）

｜主催｜神戸市企画調整課政策企画部調整課　　｜共催｜デザイン・クリエイティブセンター神戸

●＋クリエイティブゼミ「神戸まちラボ CASE2　つなぐデザイン
～市街地西部地区（兵庫区南部・長田区南部）の豊醸化をめざして～」

｜日時｜2016 年 5 月 24 日（火）～8 月 2 日（火）19:15～21:15（全 10 回）

｜会場｜KIITO 3F 303　　｜参加費｜無料　　｜定員｜15 名程度（事前申込み制、先着順）

｜申込み｜2016 年 4 月 28 日（木）11:00 からウェブサイト（http://kiito.jp/）にて申込み受付開始

｜講師｜永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長）

｜ゲスト講師｜藤浩志（美術家／藤浩志企画制作室代表）

｜主催｜デザイン・クリエイティブセンター神戸

｜協力｜神戸市企画調整課政策企画部調整課

●スケジュール

第 1 回　5/24（火）オリエンテーション
第 2 回　5/31（火）グループディスカッション 1
第 3 回　6/7（火）グループディスカッション 2
第 4 回　6/14（火）グループディスカッション 3
第 5 回　6/21（火）グループディスカッション 4
第 6 回　6/28（火）中間プレゼンテーション
第 7 回　7/5（火）グループディスカッション 5
第 8 回　7/12（火）グループディスカッション 6
第 9 回　7/19（火）グループディスカッション 7
第 10 回　8/2（火）最終プレゼンテーション

●講師プロフィール

永田宏和（ながたひろかず）／デザイン・クリエイティブセンター神戸　副センター長
1968 年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993 年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001 年「iop 都市文化創造研究所」を設立。2006 年「NPO 法人プラス・アーツ」設立。2012 年 8 月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪 2009・水辺の文化座」、「イザ！カエルキャラバン！」(2005～)、「地震 EXPO」(2006)、KIITO オープニングイベント「ちびっこうべ」(2012) などがある。

藤浩志（ふじひろし）／美術家、秋田公立美術大学教授
1960 年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇活動に没頭した後、地域社会を舞台とした表現活動を志向し京都情報社を設立。京都市内中心市街地や鴨川などを使った「アートネットワーク'83」の企画以来全国のアートプロジェクトの現場で「対話と地域実験」を重ねる。同大学院修了後青年海外協力隊員としてパプアニューギニア国立芸術学校勤務。都市計画事務所勤務を経て 92 年、藤浩志企画制作室を設立。各地で地域資源・適正技術・協力関係を活かしたデモンストレーションを実践。福岡県糸島市在住。NPO 法人プラスアーツ副理事長。秋田公立美術大学教授。

大谷燠（おおたにいく）／NPO 法人 DANCE BOX　Executive Director
1996 年に大阪で DANCE BOX を立ち上げ、多数のコンテンポラリーダンスの公演、ワークショップをプロデュース。2009 年 4 月、神戸・新長田に拠点を移し、劇場≪ArtTheater dB 神戸≫をオープン。新進の振付家・ダンサー・制作者を育成する「国内ダンス留学@神戸」や、「KOBE-Asia Contemporary Dance Festival」など国際交流事業のほか、アートによるまちづくり事業も多数行う。2015 年 KOBE ART AWARD 受賞。

松原永季（まつばらえいき）／スタヂオ・カタリスト代表
1965 年京都市生まれ。京都大学建築学科卒業。東京大学大学院工学研究科建築系修了。Team ZOO いるか設計集団を経て、2005 年に有限会社スタヂオ・カタリスト設立。阪神・淡路大震災以後、復興まちづくりに取り組み、これまで建築設計とともに、密集市街地、中山間地集落、オールドニュータウンなど様々な地区で、まちの再生や住民主体のまちづくり、市民と行政の協働を支援している。事務所が所在する神戸市長田区駒ヶ林地区で策定した「ひがっしょ路地のまちづくり計画」で、2014 年関西まちづくり賞、日本都市計画学会賞（計画設計賞）受賞。

山下香（やましたかおり）／下町レトロに首っ丈の会隊長、流通科学大学特任准教授、一級建築士事務所状況設計室代表、フランス政府公認建築家）
神戸市兵庫区育ち。中学生の頃、北野・塩屋・須磨離宮前など近代洋風建築が溶け込む景観を見て、鉄工所と駄菓子屋が隣接する自分の町とのギャップに衝撃を受ける。1995 年から英国立グラスゴー大学、フランス国立パリ建築大学ラ・ビレット校で建築を学び、足下の宝に気付く。2005 年、住民による地域資源の発掘・発信・共有を目的とした「下町レトロに首っ丈の会」を伊藤由紀と結成。

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当
〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4　TEL 078-325-2235　FAX 078-325-2230
開館時間 9:00-21:00 入館料無料　休館日 月曜日　info@kiito.jp　http://kiito.jp/